

東京・有楽町に奈良県産材のベンチを設置します
～2027年開設 YURAKUCHO PARK 内～

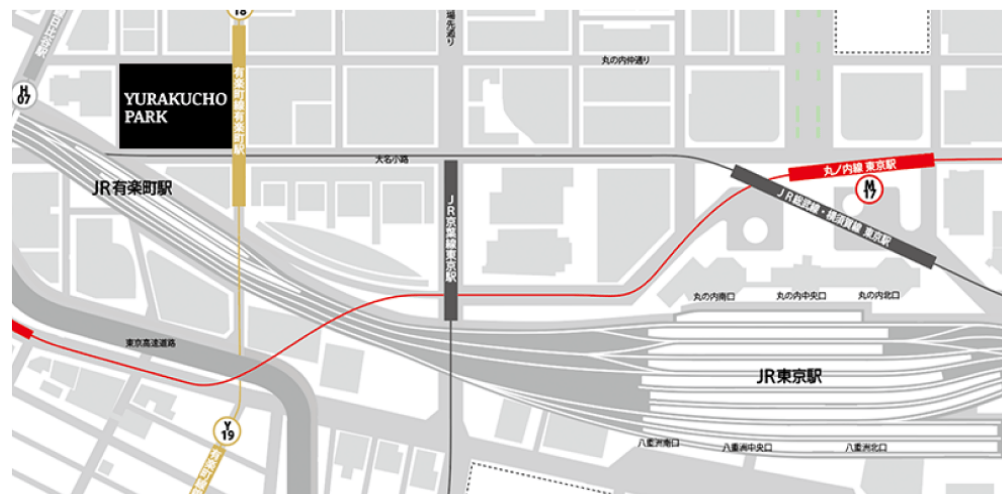
知事定例記者会見資料
令和8年9月15日(火)

1 東京・有楽町に奈良県産材のベンチを設置

- ・ 奈良県では、県産材の魅力をより多くの方に知っていただき、利用を広げるため、2027年にJR有楽町駅前に、三菱地所が整備する「YURAKUCHO PARK」に、吉野杉を使った木製ベンチを設置します。
- ・ ベンチに座って木のぬくもりを感じたり、吉野杉の美しさや香りを楽しんだりすることで、奈良の森林の恵みを身近に体験していただきます。
- ・ 首都圏の多くの人に県産材の良さを知って頂き、「木の産地・奈良」の魅力を発信し、新たな利用につなげます。



▲丸の内エリア全体から見た「YURAKUCHO PARK」
有楽町駅前の「有楽町ビル」「新有楽町ビル」跡地(イメージ画像左手)に位置 三菱地所HP



「YURAKUCHO PARK」概要

三菱地所公表資料編を県で加工

- ・「YURAKUCHO PARK」は、三菱地所がJR有楽町駅前の「有楽町ビル」「新有楽町ビル」の跡地に整備する、新しいまちづくりの拠点です。
- ・建物解体後、新たな建物が建設されるまでの期間を活用し、有楽町のこれからのまちづくりを考える場として整備される都市空間です。
- ・店舗やイベントスペースなどが設けられ、2027年の開園を予定。
- ・規模は約10,000㎡。
- ・全国12の自治体と連携しそれぞれの地域で育まれた素材や建材を取り入れます。

全国の木材・文化・物語が、有楽町に集う。

－この取り組みで実現すること－



地域の魅力を発信

各自治体の素材や
ストーリーを発信します



人と地域をつなぐ

地域素材を生かした
ランドスケープを通じて、
地域と人が出会うきっかけにします



持続可能なまちづくり

国産材や植栽を活用し、
環境に配慮した
都市空間をつくります



日本を世界へ発信

有楽町から、
日本の魅力を
国内外へ発信します

3

吉野杉を活用した木製ベンチを設置

奈良県は、「YURAKUCHO PARK」内に、吉野杉を活用した木製ベンチを3台程度設置します。



▲CGパースは完成予想図です。景観協議中につき、上記仕様は変更になる場合があります
三菱地所HP

奈良県の森林資源の魅力を、東京を訪れる多くの人へ



吉野地域では、約500年にわたって、先人から受け継いだ山づくりの技術によって森林が育てられてきました。



東京の玄関口である有楽町で、吉野杉の美しさや香り、木のぬくもりを体感できる機会を提供します。

【特徴】



- 奈良県の代表的な木は、スギとヒノキです。日本各地で生産されている樹種ですが、その中でも、吉野地域で生産されるスギ・ヒノキは、「吉野材」と呼ばれる、強さと美しさを兼ね備えた日本を代表する良質な木材です。

【独自の育成方法】



密集して、植える



何度も間引き、密度を調整



限りない手間をかけて、細かく、均一な年輪が育まれる

4

県産材の魅力を首都圏などで積極的に発信

- ・「YURAKUCHO PARK」へのベンチの設置をはじめ、首都圏の人々に県産材を知っていただく機会を創出します。
- ・ウェブサイトやSNS、メディア、展示会などを通じて、県産材の魅力や活用事例を幅広く発信します。
- ・これらの取り組みにより、県産材を使ってみたいと思う人や企業を増やし、新たな需要の創出と利用の拡大を目指します。

1 首都圏で奈良県産材をPR



「YURAKUCHO PARK」への
木製ベンチの設置



ベンチに奈良県産材を紹介する
PRプレートを設置



県産材を紹介するポータルサイトの
内容を充実



首都圏のメディアへの情報提供

2 ウェブサイトやSNSで情報発信



ウェブサイトやSNSを活用した
情報発信



「奈良の木のポータルサイト」の
内容の充実



同ポータルサイトの「ウッドデザイン賞」
への応募・入賞を目指す取組



海外に向けた英語版の
県産材ポータルサイトの充実

3 県産材を使う企業や取引先を増やす



首都圏で開催される
大型展示会への出展を支援



展示会での商談の機会を増やす



奈良県産材を使った
製品を広く紹介



県産材を使いたい企業や事業者との
新たな取引につなげる